

# 【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： OVA-115

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
卵巣がん	CD療法 (PLD-C)	21~28 日間	6コース	■ 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高/中	J Clin Oncol 28: 3323-29, 2010 Br J Cancer107: 588-91, 2012

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	デキサート パロノセトロン アロカリス	6.6mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓																											
②	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250mL	点滴静注	60分	↓																											
③	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	30分	↓																											
④	ドキシル 5%ブドウ糖液	30mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分	↓																											
⑤	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	5分	↓																											

## <注意事項/備考>

- ✓ タキサン系薬剤の投与が困難な場合のオプションの1つ
- ✓ Infusion reaction：PLD前の5%ブドウ糖液50mL開始と同時に、解熱鎮痛薬+抗ヒスタミン薬を内服
- ✓ PLD：5%ブドウ糖液で希釈し、1mg/minを超えない速度で投与
- ✓ PLD：90mg未満でも、5%ブドウ糖液500mLに希釈（主科と取り決め）
- ✓ PLD：総投与量500mg/m<sup>2</sup>以上で、心毒性のリスク増大
- ✓ 手足症候群：PLDで生じやすく、3コースまでに起こる頻度が高い。しびれ、疼痛、色素沈着など
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）